

# 首相の尖閣演説 決め手



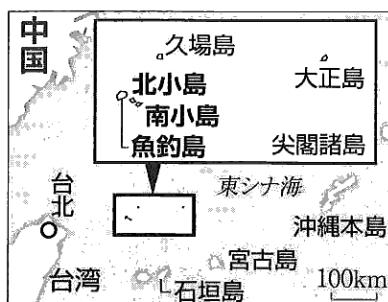
◆ 尖閣諸島の魚釣島  
(2日、本社機から)

「政府の方で地権者との話をお進めています」  
長島昭久首相補佐官は4日、東京都内の石原知事の自宅で、尖閣諸島の魚釣島など3島の国有化に踏み切る方針を知事に伝達した。地権者と合意したのは3日で、その翌日のことだ。また、長島氏は「知事が

政府は、尖閣諸島（沖縄県石垣市）の購入に関し、埼玉県在住の地権者と近く売買契約を結ぶことで合意した。地権者を巡る争奪戦は政府に軍配が上がった格好だが、東京都による購入を目指した石原慎太郎知事の動きが、後押しした側面もあった。

（政治部 橋本潤也）

国有化に協力する条件としていたことは今の中止ではできません」とも伝え、石原知事が条件として挙げた船だまりの整備も拒んだ。民主党政権が国有化交渉に着手したのは、2010年9月、尖閣諸島沖で起きた中国漁船による海上保安庁巡回船への衝突事件がきっかけだ。菅政権（当時）は「島の平穏かつ安定的な維持管理には、島の国有化



◆ 尖閣諸島をめぐる最近の動き

4月 16日	東京都の石原慎太郎知事が米ワシントンで講演し、都が島の一部を買い取る意向を表明
6月 7日	丹羽宇一郎中国大使が英紙取材に、島を買い取れば、「日中関係が極めて重大な危機に陥る」と懸念を表明
7月 6日	長島昭久首相補佐官ら政府関係者が、石原知事と会談し、尖閣諸島の国有化方針を伝達
8月 15日	魚釣島に香港の民間団体の活動家らが不法上陸。逮捕の2日後に強制送還
19日	野田首相と石原知事が会談。知事が、都の購入計画を条件付きで取り下げることを首相に提案
	都議ら10人が政府の上陸許可なしに魚釣島に上陸
27日	北京市内で丹羽大使の乗った公用車が襲われ、日本国旗が奪われる
31日	山口壮外務副大臣が北京で中国の戴秉国國務委員と会談。首相の親書を渡す
9月 2日	都が周辺海域を調査
3日	長浜博行官房副長官が地権者の男性と面会し、売買契約を結ぶことで合意

## 地権者と交渉 急進展 首相と会談後 石原知事も軟化

スヤナ  
SCANNER

に広大な土地を持つ資産家

石原知事が、島の購入費

として全国に寄付を呼びか

けたことも政府にとつては

想定外だった。寄付はうな

ぎ登りに増え、最終的に14億円超に上った。政府とし

ても、寄付金を超える買取額を交渉の前提条件とせざ

るをえなかつた。結局、政

府と都の「価格のつり上げ競争」（都関係者）となり、購入額は約20億5,000万円に膨れあがつた。

こうした中、政府が地権者を説得する決め手の一つになつたのが、野田首相が8月24日、領土保全への決意を示すために開いた記者会見だつた。首相は尖閣諸島への香港の活動家らによる不法上陸に対し、「遺憾の極み。看過できない」などと強調した。政府高官も「地権者に首相の真剣さを訴える絶好の機会になつた」とする。

一方、政府による交渉の進展を見て、石原知事も軟化した。8月19日には、たちあがれ日本の園田幹事長の仲介で、首相公邸で1時間あまり野田首相と極秘に会談し、首相による国有化方針の説明に耳を傾けた。石原知事が詰め寄る場面も再三あつたが、元々、都の購入後の国有化には理解を示していたこともあり、結果的には首相の説得も功を奏したようだ。

「政府と（地権者が）折り合つたのなら、私たちが口を挟める問題ではない」石原知事は5日、記者団に国有化について質問されると、淡々と語つた。

都関係者によると、地権者たちは「石原さんのいる東京なら私は譲る」「男と男の約束」と石原知事に話すなど都への売却に傾いたとい

う。政府としても、国有化に向けた動きの加速化を迫られた。